

The birth of the "New B-3"



HAMMOND
ORGAN
CATALOGUE
for Professional



HAMMOND

オルガンの歴史は、ハモンドが創る

Why?

そして、今、何故ハモンドか？

Original B-3(~1975)の生産終了から、30年の沈黙を破り、New B-3誕生です。オルガンづくりの原点を常に見極めてきたからこそできる21世紀のB-3。Original B-3直系の血統サウンドを体感できます。

伝説とさえいわれるB-3サウンドの再現を単に求める風潮の中、ハモンドは一貫して「ハモンドオルガン」を創り続けていることが、このNewB-3で実感できるだろう。

今、何故ハモンドか？

この問いに対する答えは、New B-3の中に全てある。

*Music is a thing that everybody should enjoy.
By Laurens Hammond.*

「音楽は誰もが楽しむべきだ」ハモンドオルガンの創始者・ローレンスハモンド氏のこの思想は70年を迎えようとする現在も、脈々と受け継がれています。

STORY

Since 1934
ハモンドオルガン
それは、オルガンのスタンダード

1934年、アメリカ合衆国シカゴでローレンス・ハモンドにより発明された世界初の電子オルガンが、ハモンドオルガン。第一号のモデルA型のデビュー以来、多彩な表現力とナチュラルでアコースティックなサウンドは数多くの世界的なプレイヤーに絶賛し続けられています。

1937年、シカゴ大学で開かれたパイプオルガンとのパネルテストで、ドローパー方式による合理的で優れた音色と高い音楽性が評価され、米国連邦商業委員会(FTC)によって、ハモンドオルガンは電子楽器としてのみならず、ピアノやバイオリンなどと同様の独立した固有の楽器として認可され、その地位を揺るぎ無いものにしました。それゆえに、世界中の百科辞典や辞書に、独立した楽器として掲載されています。

ハモンドの音づくりの考え方は、現在の全てのオルガンや電子楽器の原点になっているといっても過言ではないでしょう。

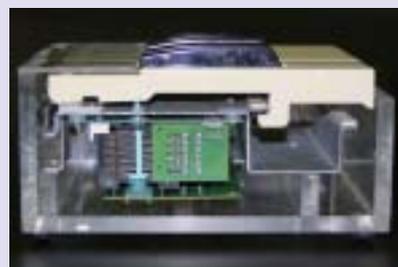
THE BIRTH



多くのプロミュージシャンの要望に応じて、ハモンドオルガンの原点ともよべるB-3を現代に復活させることができました。

多列接点鍵盤を搭載

プレイヤーの演奏を100%音に反映させるために、まず鍵盤の構造から考えなおし、オリジナルB-3と同じく9個のサイン波を直接鍵盤スイッチにより発音消音を行うダイレクト・キーイング方式を採用、表現力が違います。



最先端の技術で復活したトーンホイール

当時のエレクトロニクス最先端技術で作られたトーンホイールの波形を、余すところ無く再生するデジタルトーンホイールシステムを搭載、常時92個すべての波形が発振状態にあり自然な発音感を得られます。

オリジナルと同じ操作性

パネルスイッチやプリセットキーにいたるまで、演奏に使われる部品を忠実に再現、オルガンテクニックを駆使した演奏にも対応します。

New B-3のベスト・コンビネーション LESLIE 122J

オープン価格



SPECIFICATION

端子	11PIN
スピーカー	ホーンローター(トレブルドライバー付)、 ローター38cmX1
コントロール	スピードコントロール(スロー、ファースト)
出力	40W 真空管アンプ
寸法	幅72×奥行40×高さ102cm
重量	70kg

OF THE "New B-3"

ハモンドオルガン

New B-3

ここにまた、ハモンドの
新たなる歴史の原点が。
称讃と羨望の先にあるもの、
New B-3。

ハモンドオルガン、B-3。これほどまでに人々を魅了したオルガンがあっただろうか。オルガンの歴史に特筆すべきこのモデルの登場で、ハモンドは、改めてその名を世に知らしめることとなった。そして、B-3によりハモンドの新たなる歴史の原点が、またここに刻まれる。

表現力、発音感、演奏性。細部にわたり、B-3を再現。「オルガン=ハモンド」の証とも言える、最高峰のオルガン。



オープン価格

SPECIFICATION

鍵盤	61鍵マルチコンタクト鍵盤2段+25鍵足鍵盤
プレット鍵盤	12鍵メカニカルラッチ
プリセット	12
音源	96デジタルトーンホイール音源
キーイング	9列アナログ・ダイレクトキーイング方式
ドローパー	上鍵盤9列×2、下鍵盤9列×2、足鍵盤2列
パーカッション	ON/OFF、セカンドハーモニック/サードハーモニック、ディケイスロー/ファースト、ノーマル/ソフト
エフェクト	ビブラートスウェル、ビブラートグレート、V1、V2、V3、C1、C2、C3、リバーブ
コントロール	トーン(バス、トレブル)、オーバードライブ、リバーブ、マスターボリューム
ディスプレイ	LCD20文字2行
外部スロット	コンパクトフラッシュカード
外部端子	11Pレスリーコネクタ、MIDI OUT、ラインアウト、ヘッドホン、レスリースイッチ
寸法	幅123×奥行73×高さ97cm
重量	95kg

プロ
ユース

for Professional



THE BIRTH

B-3のすべてが、ここにある。ハモンド "New B-3"

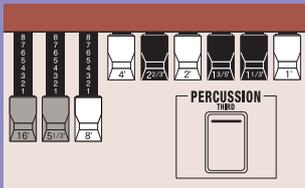


ハモンドの原点、ドローバーシステム

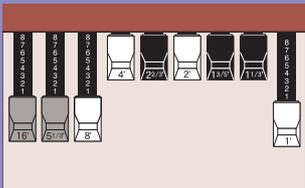
2億5千3百万の音色を生み出す、ハモンドが開発したすごいシステムだ。しかし、現実的に音色としてこの数を使い分けることはできない。すごいのは音色数ではない。

同じレジストレーションでも演奏する場所や状況が変わればサウンドは変化するし、プレイヤーの感情だって変化する。その変化に対応し、リアルタイムに9本のドローバーを微調整しながら最適なサウンドを創ることが可能なのだ。プレイヤーにフラストレーションを感じさせないのがドローバーシステムのすごさといえる。

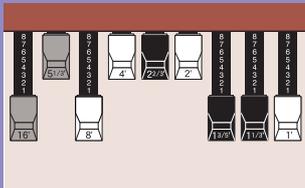
JAZZ



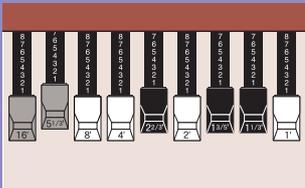
BLUESY



GROOVY&FUNKY



MAX POWER



Mr.HAMMOND New B-3の魅力を語る

「B-3はそのすべてが演奏の一部である」と考えNew B-3を開発しました

開発スタッフ・リーダー

「やはりB-3でなければ」というユーザーの声に、堂々と応えたのが、New B-3です。

音源部はB-3に備えられた96のトーンホイールをひとつずつサンプリングした波形を搭載しています。リークage・ノイズの波形も同じ機種のもので、違和感なく自然に音色に溶け込ませることができました。サウンド面に関しては、実際にB-3とNew B-3を聴き比べてみても、その違いは分からないでしょう。

New B-3開発で最もポイントとなったのは鍵盤部分です。現在のデジタル・オルガンの多くはCPUが押鍵を検知して発音を行います。この方式では発音のタイム・ロス回避できません。そこで、New B-3では音源部を常に発音している状態にし、鍵盤部分の電気接点で実際に音のON/OFFを行い、押鍵すれば瞬時に音が出るという、オリジナルB-3同様の方式を採用しました。もちろん、鍵盤部には各ドローバーに対してひとつずつとパーカッション用に1つの計10個の接点が用意されています。これは多列接点と呼ばれる構造で、やはりB-3の方式を完璧に再現したものです。オルガンの大きな特徴であるキー・クリック・ノイズも、実際にこの接点部分から発生していますが、接点には金メッキを施してあるのでほとんど経年変化がなく、キー・クリックも長期間にわたり同じ音質を保つことができます。

私たちは「B-3はそのすべてが演奏の一部である」と考え、New B-3を開発しました。B-3にあるスイッチと同じ場所にスイッチがあり、同じ動きをするのがNew B-3で、その演奏感はB-3以外のものを全く感じさせません。New B-3は、オリジナルのB-3とすべてにおいて同じオルガンなのです。

OF THE "New B-3"

PLAY THE NEW B-3

※協力：河合代介／(株)リットー・ミュージック／(株)インプレス／(株)アド・ストーク

New B-3の開発当初から、試奏をくり返しながらかつ参加していただいた河合代介氏に、お好みのフレーズを演奏しながらNew B-3の特長をあますところなく語ってもらいました。

弾きまくり by DAISUKE KAWAI

Profile

HAMMONDオルガン／キーボード・プレイヤー。10歳のころからHAMMONDオルガンを独学で弾き始める。14歳でジミー・スミスの演奏に触れ、以降ジャズ・オルガンの道を志す。これまで藤あや子からモーニング娘。まで幅広いジャンルのレコーディングやライブに参加。昨年9月にHAMMONDオルガン・サウンドを前面に出したバンド、Tone Wheelsの1stアルバム『Limitless』をリリースした。

IMPRESSION

HAMMONDオルガンの次世代を担うNew B-3

実はこのHAMMOND New B-3、僕は足かけ2年ほど触らせていただいています。New B-3は“本物のB-3の機構を忠実に再現する”というコンセプトのもとに作られた楽器ですので、触れる部分すべてがB-3と同じ機能。中でも、本物のB-3と同じ“多列接点”という仕様の鍵盤部は素晴らしいと思います。多列接点はまさにHAMMONDオルガンの命といえるもので、この仕組みによりすべての倍音が同じタイミングでは鳴らない構造になっています。例えば複数のドローバーを引き出した状態で弾いたときでも、弾き方によっては鳴らない倍音(ドローバー)が出てくる場合もあるのです。この仕組みを感じながら鍵盤の押し込み加減をコントロールして弾くことにより、いろいろなニュアンスを出すことができます。

New B-3にはコーラス／ピブラートも搭載されています。オリジナルのB-3では“スキヤナ・ピブラート”というシステムを採用しており、デジタルではなかなか再現するのが難しかったのです。これが忠実に再現されているのはうれしいですね。パーカッションのディケイのスピード、ボリューム、ピブラートのスピードもオリジナル同様、何段階かに変更することが可能です。また、本物のB-3のように電源を切ったとき、モーターの回転が落ちてバンド・ダウンするような効果も出すことができますよ。

見た目、弾いた感触、音など、すべてにおいてB-3と同じ感覚を味わえるNew B-3。HAMMONDオルガンの次世代を担う傑作として評価されることは確実だと思います。

フレーズ A

典型的B-3サウンド=黄金のレジストレーションによるブルース

これはスロー・テンポのいい感じのブルース。トップ・ノートの小指で押さえて音を持続させながら、ほかの指で5度から3度までクロマチック(半音階)で下降するという、オルガンのサウンドを活かした演奏を行っています。

音色は、ジミー・スミスに代表されるようなジャズ・オルガンのプレイでよく聴ける“典型的なB-3サウンド”で、僕にとって“黄金のレジストレーション”です(レジストレーションとは、HAMMONDオルガンの音色設定のことを指す用語。これを知らなかったらオルガン奏者じゃないというほどポピュラーな言葉なので、知らない人はぜひ覚えてください)。具体的にはアッパー・マニュアル(上鍵盤)のドローバーは「16」」「5 1/3」」「8」の3本をフルで引き出します(写真q)。また、パーカッションをONにしてディケイをFAST、ボリュームをSOFT、倍音の切り替えを3rdに設定しました。

また、ローワー・マニュアル(下鍵盤)では、ドローバーの「16」」「8」をフルにし、「5 1/3」を「3」に設定して倍音を加え、低音に太さと力強さを出しています。

ベース・ペダル(足鍵盤)のドローバーは、「16」だけをフルに設定し、主にローワー・マニュアルで演奏されるマニュアル・ベース(手の演奏によるベース・パート)にアクセントを施すため、スタッカートで蹴るように演奏しています。また、ペダルをテヌートで踏むことによって、もっと大きなアクセントを付けることが可能です。



■フレーズC、D、Eの譜面中表示されているⓍ、Ⓨの記号は、LESLIE 122のスピーカークの回転(FAST/SLOW)の切り替えポイントを示した記号です(ⓍはFAST、ⓎはSLOW)。また、フレーズA、BではSLOWのみを使用しているため、記号が付いていません。



■写真1 アッパー・マニュアルの設定。左から「16」」「5 1/3」」「8」のドローバー。これら3本のすべてをフルに引き出した状態。



THE BIRTH

フレーズ B

パーカッションを強調したシャーリー・スコット風のプレイ

こちらはパーカッションを強調したセッティングで弾きました。古くから活躍する有名な女性オルガニスト、シャーリー・スコットのプレイでよく聴ける音色なのですが、僕も好きで、ときどき使っています。

コード進行はCmキーのブルースっぽい雰囲気ですが、どちらかというとコードよりも音色の特徴からこのフレーズが生まれたという感じ。こういうパーカッションを強調した音色の場合、プレイするときは、やはりパーカッシブに1音1音が立つように弾いた方が音色の特徴が出ます。レガートやテヌートで滑らかに弾くのではなく、Track 21のようにスタッカート気味に歯切れよく1音1音軽やかにプレイするといい感じになりますね。

セッティングですが、パーカッションは2ndを選択し、ボリュームはフレーズAで使ったSOFTからNORMALに切り替え、パーカッションの音量を上げています(写真w)。フレーズAの音色より、コロン、コロンとしたサウンドになっているのが分かるでしょう。ドローパーは奇数ドローパーを含まないセッティングで、「16」「8」「4」をフルで引き出しているところはフレーズAと同じですが、それに加えて「2」を「5~6」の目盛り程度まで引き出してやや明るさを加えています(写真e)。演奏する状況によっては、下3本をフルのままにしておき「2」で音の明るさや硬さを微調整します。



■写真2 パーカッション用のスイッチ。左からオン/オフ、ボリュームのNORMAL/SOFT、ディケイのFAST/SLOW、第2倍音(2nd)/第3倍音(3rd)の切り替えという内容だ。



■写真3 「16」「8」「4」をフルで引き出し、「2」を5~6の目盛りまで引き出したドローパー・セッティング。

フレーズ C

内蔵コーラス・エフェクトとLESIEEを使用したバラード音色

スイート・ソウルやバラードでよく使われる音色で、シンセに例えるならいわゆるパッド・サウンドに近いものといえるでしょう。すべての音域をうまく使うために、コードをよく響かすためのドローパー・セッティングになっています。Track 22は最初、「16」「5 1/3」「8」と「1 3/5」「1-1/3」「1」をフルに出した状態になっていますが(写真r)、その後は各ドローパーを適宜調節しながら演奏していきました。

もし、このサウンドをもう少し丸い感じに変化させたいのであれば、このうちの上3本(「1 3/5」「1-1/3」「1」)を徐々に引っ込めていけばいいでしょう。ただし、3本を同じ値で引っ込めるのではなく、それぞれを少しずつしながら引っ込めていくのがポイント。その方が、音色の変化がはっきりと分かると思います。

また、ここではNew B-3内蔵のコーラス・エフェクトを使いました。コーラス・エフェクトをONに設定すると、オリジナルのB-3と同様、さらびやかで明るい音色になるのです。New B-3のコーラスは、オリジナルのB-3と同じく3段階から深さを選べるのですが、今回は「Chorus 3(C-3)」を選びました。

さらに、LESIEEのスピードをFASTにすることにより、「コーラスの人数が多くなったような雰囲気」を演出しています。さらに、「1」などの奇数倍音が出るドローパーを多く使用すると、よりキラキラしたサウンドが得られるでしょう。



■写真4 引き出しているドローパーは、左から「16」「5 1/3」「8」「1 3/5」「1 1/3」「1」。ここから、「1 3/5」「1 1/3」「1」のドローパーを徐々に引っ込めていくと、より丸いサウンドを作り出すことができる。

OF THE "New B-3"

フレーズ D

フル・ドロバーによるビッグ・バンドのようなプレイ

このフレーズは、ドロバーをすべて引っ張り出した「フル・ドロバー」で演奏しています(写真t)。この豪華な音色は、まるでビッグ・バンドのような演奏を可能にしてくれます。

演奏面での一番の特徴は、上鍵盤の「ハネるグリス」。一般にグリスは、鍵盤をなでるように上下させることが多いようですが、僕はポンピングするように演奏することで、より攻撃的なサウンドを得ています。New B-3では、「多列接点(鍵盤に備えられている接点が1ドロバーごとに独立している。右下の*参照)」という本物のB-3が持っている鍵盤の構造を再現しており、ハネるグリスを使った場合も「ウギャウギャウギャ」という、B-3独特のグリス・サウンドを再現できるのです。さらにLESLIEを回してやると、人の叫び声のような音になるのが面白く、僕はこのサウンドでのグリスを多用しています。

また、フレーズにおいてはボイスिंगにも特徴があります。ピアノでは、オープン・ボイスングが可能ですが、B-3の場合は右手と左手を上下の鍵盤にそれぞれ分けて弾くため、片手は大抵1オクターブ以内の音を使ったクローズ・ボイスングになることが多いのです。しかし、ここでは、あえてオクターブ以上の9度や10度でのオープン・ボイスングを使っています。そうすることで、幅広くグッとくるようなサウンドが得られるからです。「フル・ドロバーによるオープン・ボイスング」。これに勝るサウンドはないと僕は思っています。



■写真5 9本あるドロバーのすべてをフルに引き出した状態。これを「フル・ドロバー」という。オープン・ボイスングを使うことで、より幅広いサウンドが得られる。

*非常にゆっくりと鍵盤を押さえることにより、各ドロバーの接点がつながっていく様子(ドロバーが順番に鳴る)をTrack 23の最後に収録しています。またここには、離鍵時に接点から出るノイズも収めているので、こちらも参考してください。

フレーズ E

ロック/ファンクの音色&小指を使ったロング・フレーズ

このフレーズでは、アッパー・マニュアルのドロバー、「16」[5 1/3] [8] [4] [2 2/3] (写真y)を使用しています。なお、ここでは明るさを調節するドロバー「2 2/3」は目盛りを「4~5」くらいに設定していますが、もう少し丸い音にしたいときは、多少引っ込めるといいでしょう。そのほか、内蔵のコーラス・エフェクトも使用しています(写真u)。

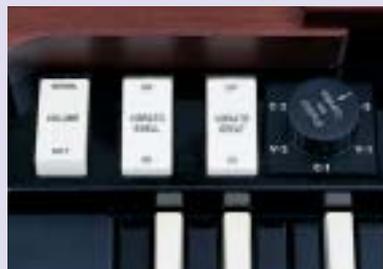
パーカッション・スイッチは倍音を2ndに設定しています。僕はライブやレコーディングなどでも「4」のドロバーを使う場合、パーカッション・スイッチの倍音の切り替えは2ndを選択しているのですが、この「4+2nd」という組み合わせは、ロックやファンクではポピュラーなレジストレーションなのです。

さて奏法に関してですが、ここでは8小節目などのように、右手のトップ・ノートを小指で残すように演奏したロング・フレーズが特徴的です。右手トップできれいなサウンドを鳴らしつつ、11小節目のようなロング・フレーズのフレージングを絡めると、まさに「泣きの音」という感じになります。また7thと5thを半音ずつ引っ掛けつつ弾くと、人の叫び声のような音が出ます(8~10小節目参照)。

さらに、左手にも注目してください。こちらは、16ビートのファンク系バックギン・パターンを使用しており、右手のメロディをましく立てるように弾いています。



■写真6 アッパー・マニュアルの設定。左から「16」[5 1/3] [8]のドロバー。これら3本のすべてをフルに引き出した状態。



■写真7 内蔵のコーラス・エフェクト設定スイッチ。ボリュームをNORMAL、ピブラートスウェル(上鍵盤用ピブラート)をON、ピブラートグレート(下鍵盤用ピブラート)もONし、コーラスの種類はChorus 3(C3)に設定している。

ハモンドオルガン

XB-1/XK-2

トーンホイール直系のサウンドが、
キーレスポンスの良さとあいまって、
まさに「ハモンドオルガン」を
プレイする醍醐味を体感。

XB-1 標準価格 ¥128,000

XK-2 標準価格 ¥180,000

減衰時間の設定やタッチレスポンス対応などのパラメータが充実したパーカッション、オルガンサウンドを引き立てるオリジナルエフェクト、デジタル・ビブラート、ホーン、バスの個々の回転速度が設定可能な2ローターデジタルレスリー。今なお熱いロックスピリッツとともに生き続けるオーバードライブサウンド。演奏空間を創造する4つのモードのデジタルリバーブ。リアルタイムに切り替え可能な64個のプリセット。多彩なエディット機能で自分だけのハモンドサウンドに。外部音源やシーケンサーと組み合わせたり、2台を使ってフルマニュアルオルガンにもシステムアップ可能。

これらの、魅力ある機能を余すところなく演奏に生かせるのは、シンプルでイージーな操作性にある。

「操作性=演奏力」、オルガンを知り尽くしたハモンドの思想がここに。
“ハモンドオルガンってなんだ？”その答えを手軽に体感できるのが、XB-1、XK-2といえるだろう。



XB-1



XK-2

XK-2はコンパクトなボディに、より本格的なB-3タイプ鍵盤とレスリー出力（11PIN）、トーンコントロールを搭載したモデルです。

SPECIFICATION

鍵盤	61鍵 (B-3タイプ鍵盤 / XK-2) ペロシティ付
ドローパー	(9ピッチ) 16', 5 1/3', 8', 4', 2 2/3', 2', 1 3/5', 1 1/3', 1'
音源	VASEII+DRBシステム
ドローパーボイス	B-3TYPE/MELLOW/BRITE
同時発音数内	32音
蔵メモリ	64プリセット (8×8バンク) +1キャンセル
内蔵レスリー	2ローターデジタルレスリー
ビブラート	デジタル
エフェクト	リバーブ (4タイプ)
ホイール	ピッチベンド、モジュレーション
MIDI	アッパー、ロワー、ペダル
外部コントローラ	レスリー：スロー/ファースト、オン/オフ、ブレイク/スルー ビブラート：1、2、コーラス パーカッション：セカンド、サード、ディケイファースト、ソフト プリセット：1~8、キャンセル、バンクセレクト、エディット/レコード ドロパーセレクト：アッパー、ロワー、ペダル スプリット：オン/スプリットポイント ボリューム：マスターボリューム、リバーブ、オーバードライブ、(トーンコントロール / XK-2)

エディットパラメータ	プリセット名
	ドローパー
	パーカッション
	アニメーション
	インターナルコントロール
	エクスターナルゾーンコントロール
	レスリーシステム
ディスプレイ	バックライト付LCD 16文字×2行
接続端子	(レスリー11PIN、ラインイン / XK-2)、ACインプット、ラインアウト (L/MONO、R)、MIDI (IN/OUT/THRU)、ヘッドホン、フットスイッチ、エクスプレッション (V-20用)、(レスリードライバー (XLD-1用) / XB-1)
電源	AC100 ~ 240V 50/60Hz
消費電力	7W / XB-1, 20W / XK-2
寸法	幅116×奥行32×高さ 9 cm / XB-1, 幅117×奥行40×高さ11cm / XK-2
重量 (本体のみ)	11kg / XB-1, 18.5kg / XK-2
付属品	ACコード

for Home

ホームユース

ハモンドオルガン

ホームオルガンの機能をコンパクトな一段鍵盤に凝縮。イージーに楽しむハモンドオルガン、XE-1。



シングル

XE-1

シングル 標準価格 ¥288,000
下鍵盤セット付 標準価格 ¥368,000



下鍵盤セット付
MDペダルボード（足鍵盤）は別売りとなります。

ハモンドオルガン

時がゆづりと流れる。空間を贅沢に変える。ハモンドが誇る、ホームシリーズオルガン。



XT-100

XT-100・XH-200

XT-100 標準価格 ¥750,000
XH-200 標準価格 ¥1,200,000



XH-200

for Church

チャーチユース

ハモンドオルガン

荘厳な音色、風格漂う優美な外観。ハモンドオルガンの源、チャーチモデル。



CH-1000

標準価格 ¥1,350,000



LESLIE 21 SYSTEM

Rotary LESLIE 2101 · Stationary LESLIE 2121

様々な音楽シーンに合わせて
自由に組み合わせたい。
幅広いニーズに対応できる、
新しいコンセプトのレスリー。

●Rotary Unit はBass, Stationary channelも内蔵しているので、これ1台あれば、家庭用・練習用にご使用できます。●ライブ、ステージ用など大音量で楽しみたいときは、Stationary Unit と組み合わせることで簡単にパワーアップできます。●また、他製品のPAアンプと組み合わせることも可能です。●XB-1、XM-1専用の8PIN DIN コネクターを装備しているため、レスリードライバーを使わずに直接接続することができます。●回転スピード、SLOWからFASTの立ち上がり時間等を自由に設定することができ、さらにこれを記憶できます。●MIDI 端子を装備、オルガン本体からのコントロールが可能となりました。●ブラシレスDCサーボモーターの採用で、電源サイクルの違いによる変更が不要です。●ライン入力装備により、レスリーコネクタを持たないオルガンやギターにも接続が可能です。

21世紀の音楽環境に適した全く新しいコンセプトのレスリーです。

- ・コンパクトかつ省スペース……rotary unit size 50×50×32cm
- ・マルチインターフェース……11pinleslie, 8pinfor XM-1, Line IN, Line Out, MIDI IN-OUT
- ・フリーコントロール……rotary speed, rise time, fall time etc.
- ・用途に応じたシステムアップが可能
- ・サウンドはトラディショナル レスリーサウンド

Leslie®

レスリー・ロータリーユニット

#2101

標準価格¥149,000



▲上記 #2101、#2121の組み合わせ例

SPECIFICATION

方式	3チャンネル レスリートーンキャビネット
スピーカー	高音部：ホーンローター（アコースティック） 低音部：ローローター 13cm×2 デジタルレスリー
出力	ホーンローター 50W、ローローター 50W×2チャンネル
コントロール	ボリューム（ステーションナリーL,R、ロータリー） オーバードライブ ファンクションスイッチ（回転スピード、ライズタイム等） バリュウ（アップ/ダウン） ファンクションセレクト（ホーンローター、ローローター） プリセット1-2、メモリー モードセレクト（NORMAL/MONO/STA.BASS MUTE）
ディスプレイ	7セグメント2桁LEDディスプレイ
端子	11ピンレスリーソケット、8ピンレスリーソケット ラインイン（ロータリー） ラインアウト（ステーションナリーL,R、ロータリーL,R） フットスイッチ1（スロー/ファースト/ストップ） フットスイッチ2（プリセット1-2） MIDI IN,OUT、21 21用リモートアウト
定格電圧	100V 50/60Hz
定格消費電力	190W
寸法	幅53×奥行52×高さ33cm
重量	23kg





ステーションaryユニット

#2121

標準価格¥98,000



S P E C I F I C A T I O N

スピーカー	低音部：38cmウーハー 中高音部：37×13cm 大型ホーン+コンプレッションドライバ
加振器-共振	700Hz
出力	低音部150W、中高音部50W
再生周波数帯域	40-15Khz
コントロール	入力ボリューム（インプット1,2,3） マスターボリューム、トーン（バス、トレブル） ツイーターレベル ファンタム電源（ON/OFF）
端子	入力1（マイク/ライン）XLRタイプ/フォンジャック 入力2-3（ライン）、ラインアウト、センド/リターン リモートパワー イン（2101用）
定格電圧	100V 50/60Hz
定格消費電力	190W
寸法	幅51×奥行50×高さ76cm
重量	39kg

OPTION FOR LESLIE SPEAKER



■ フットスイッチ FS-9H



■ 11PINレスリーケーブル（7m） LC11-7M
■ 8PINレスリーケーブル LC8-7M

ロータリーユニット

LESLIE 122XB

標準価格¥390,000



ハモンドドロワーサウンドを余すところなく伝えるレスリースピーカー。
音に立体感と広がりを与えるレスリーサウンドは、
多くのミュージシャンに愛され、
ハモンドオルガンとのコンビネーションは
伝説になっています。
ドップラー効果もたらす独特の音色、
スロー回転からファースト回転に
移行するときの立体感
はアコースティックでなければ出せない効果です。

S P E C I F I C A T I O N

端子	11PIN
スピーカー	ホーンローター（トレブルドライバー付）、ローワーローター38cm×1
コントロール	スピードコントロール（スロー、ファースト）
出力	40W 真空管アンプ
寸法	幅72×奥行40×高さ102cm
重量	70kg

ACCESSORIES

MIDIペダルボード XPK-100

鍵盤	13鍵 ペダル鍵盤
表示	7セグメント×3桁、LEDディスプレイ (LEDインディケータ=TRANSPOSE・OCTAVE・CONTROL)
スイッチ	5 PLAY/EDIT・PRESET/ EDIT NUMBER UP・DOWN・ TRANSCOSE/LOCK・CONTROL
プリセット	15 (メモリーバックアップ付き)
エディタ	14 (E00~E13)
接続端子	DC IN・MIDI IN1・IN2・OUT
対応機種	XE-1、XB-1、XK-2
付属品	ACアダプター(AD1-1010)・MIDIケーブル(1.5m)
寸法	幅56×奥行39×高さ13cm
重量	8.5kg (本体のみ)
標準価格	¥42,500

MIDIチャンネルやオクターブは自由に変更でき、15個までメモリー可能。また、このメモリーではボリューム、プログラムチェンジなどの情報も記録されるため、両手がふさがっている時に、足での音色チェンジが可能。



エクスプレッションペダル EXP-100AN

対応機種	XK-2
寸法	幅12.7×奥行29.5×高さ8cm
重量	2kg
標準価格	¥15,000



演奏に抑揚表現を与えるための必需品。ペダル動作が滑らかで、より微妙な表現が可能。ライブ演奏での使用に適する。

エクスプレッションペダル EXP-100F

対応機種	XE-1
寸法	幅12.7×奥行29.5×高さ11cm
重量	2kg
標準価格	¥15,000



光素子により、滑らかな抑揚表現が可能。フットスイッチで本体の各種機能をコントロール。

エクスプレッションペダル V-20H

コントロール	メインボリューム、ミニマムボリューム
対応機種	XB-1、XK-2
寸法	幅8.6×奥行20×高さ5.5cm
重量	460g
標準価格	¥9,000
備考	ステレオプラグ付コード



演奏に抑揚表現を与えるための必需品。シーケンサーへのリアルタイムレコーディングに適する。

ホイールコントロールセンター CU-2

対応機種	XT-100、XH-200、CH-1000
寸法	幅20×奥行13×高さ8cm
重量	430g
標準価格	¥12,000



華麗なチョーキングや潤いのあるビブラートの表現に。

オートバンドスタイルディスク



自動伴奏のスタイルを拡張。自分の演奏スタイルに合わせて、各種フロッピーディスク1枚に6種類のスタイルを収録。

標準価格 各¥3,000

品番	タイトル	対応機種
ASD-1	From Bach to Rock	XT-100・XH-200
ASD-2	Organ Styling	XT-100・XH-200
ASD-3	Jazz, Latin & Such	XT-100・XH-200
ASD-4	Dance Around the World	XT-100・XH-200
ASD-5	Rock & Dance Party	XT-100・XH-200
ASD-11	Modern & International	XT-100・XH-200・XE-1
ASD-12	The World of Creative Big Bands	XT-100・XH-200・XE-1
ASD-13	All That Jazz!	XT-100・XH-200・XE-1

■お問い合わせ

SUZUKI
株式会社 鈴木楽器製作所

製造元 株式会社 鈴木楽器製作所
〒460-0852 浜松市領家2-25-12 TEL.053-461-2325
総発売元 株式会社 ハモンドスズキ
〒430-0852 浜松市領家2-25-12 TEL.053-462-7810
ハモンド梅田センター TEL.06-6359-2636

<http://www.suzuki-music.co.jp/>
インターネットでスズキホームページをご覧ください。

■仕様及び外観は製品改良のため予告なく変更する場合があります。■製品の色は印刷の関係で多少異なる場合があります。■詳しくは、各地の取り扱い店、または営業所にお問い合わせください。■カタログ記載の商品には消費税は含まれておりません。■このカタログの内容は2002年6月1日現在のものです。